

山西の観光名所



山西省旅游局編

中國旅游出版社出版
(北京建國門內大街甲九號)

中國旅游出版社發行

開本: 850×1168 1/16

印張: 8.25

1992年10月 第一版一次印
刷

印數: 精裝2000 平裝4000

ISBN7—5032—6087—X/K·13 7

精裝006500 平裝004500

承印: 山西省國際廣告公司

印刷: 香港彩蝶印刷公司

編委主任: 楊建峰

主 編: 孟凡武

副主編: 韓和平

編 委: 楊建峰

荆 澎

毛曉彤

執行編委: 馬 寧

責任編輯: 許 華

設 計: 牛 源

文 字: 楊建峰

王炳武

劉 平

陳少卿

翻 譯: 王正仁

吳雪陶

攝 影: 馬名駿

李志恒

範歧山

李瑞芝

梁達才

韓冬生

張培華

于天爲

李 彬

孟凡武

陳占奎

杜友諒

宋寶群

馬 寧

許 華

孟凡武

孫小平

吳雪陶

悅克伶

李愛文

李安保

池茂花

劉安新

高濟翰

陳晉平

丁 瑜

孟凡武

董瑞成

董瑞成

韓和平

王炳武

馬 寧

李 彬

毛曉彤

宋寶群

陸偉民

韓寬晨

趙秉權

陳占奎

高恒如

王東風

張太一

李 彬

陳書帛

李 彬

孫小平

宋寶群

荆 澎

杜友諒

耿非祥

耿非祥

李文奎

史 楊

樊旺林

韓萬德

張少杰

陳亞輝

馬 寧

張嘉齊

編輯委員會主任: 楊建峰

主編: 孟凡武

副主編: 韓和平

編輯委員: 楊建峰

李 彬

孟凡武

荆 澎

孫小平

毛曉彤

宋寶群

馬 寧

宋寶群

馬 寧

許 華

牛 源

楊建峰

荆 澎

毛曉彤

吳雪陶

陳少卿

王正仁

孟凡武

王炳武

杜友諒

宋寶群

悅克伶

李愛文

董瑞成

韓和平

陳占奎

毛曉彤

宋寶群

馬 寧

宋寶群

馬 寧

許 華

牛 源

楊建峰

荆 澎

毛曉彤

吳雪陶

陳少卿

王正仁

孟凡武

王炳武

杜友諒

宋寶群

悅克伶

李愛文

李 彬

孫小平

劉 平

耿非祥

執行編輯委員:

責任編輯者:

設計:

作者:

翻譯:

寫真:

目 録

前言	1
太原旅游區	4
大同旅游區	20
平朔旅游區	32
恒山旅游區	44
五臺山旅游區	54
陽泉旅游區	70
綿山旅游區	74
靈空山旅游區	78
北武當山旅游區	82
長治旅游區	86
晉城旅游區	92
歷山旅游區	98
臨汾旅游區	102
運城旅游區	112
山西名産名吃	120

目次

まえがき

太原観光ブロック

大同観光ブロック

平朔観光ブロック

恒山観光ブロック

五台山観光ブロック

陽泉観光ブロック

綿山観光ブロック

靈空山観光ブロック

北武当山観光ブロック

長治観光ブロック

晋城観光ブロック

歷山観光ブロック

臨汾観光ブロック

運城観光ブロック

山西省の名産名物



前言

山西，位於黃土高原之上，西鄰陝西，東連河北，南靠河南，北接內蒙，是一處歷史悠久、物產豐富、文物薈萃、人才輩出的土地。

山西，因地處太行山以西而得名。春秋時為晉國領地。戰國時，韓、趙、魏三家分晉，亦被人稱為“三晉”。

三晉大地，處於黃河中游地帶，是中華民族的重要發祥地之一，也是中國古代文明、傳統文化的發祥地之一。早在一百萬年前，中華民族的祖先就在這裡勞動、生息、繁衍。相傳，華夏民族的始祖之一黃帝，曾經活動在山西。而中國遠在史前的三位名人堯、舜、禹，都曾在山西南部建都。堯都平陽（今臨汾），舜都蒲坂（今永濟），禹都安邑（今夏縣）。春秋時期，晉文公重耳，曾作為春秋五霸之一走上歷史舞臺。北魏時，平城——大同曾作為北魏的首都名重一時。到隋朝末，李淵父子起兵太原，繼而奪取長安。李世民，作為“太原公子”走上帝位，統一中國，并把太原作為“北京”、“陪都”而存在。元末明初，中原逐鹿，戰亂連年，平原地帶出現了許多無人區、無人村，而山西人口繁衍正常，便出現了洪洞大槐樹集中移民向北、向南、向東遷徙的行動。八次大移民，皆出自山西。民諺有“要問家鄉在何處？山西洪洞大槐樹”。可見，山西在歷史上是何等繁榮。

山西省，總面積為15.63萬平方公里，總人口為2870多萬。東有太行山，西有呂梁山，北有恆山、五臺山，南有中條山、太岳山。山西境內山脈綿延起伏，排列縱橫，雄險巍峨。汾河水由北而南，縱貫全境。山西大部分地區海拔1000—2000米之間，最高海拔為3058米，山西被稱為“華北屋脊”、“表裡山河”。

山西境內，共有縣和相當於縣的市、市轄區118個，分為雁北、忻州、晉中、呂梁、臨汾、運城六個地區和太原、太同、陽泉、長治、晉城、朔州六個省轄市，省會為太原。

悠久的歷史，給山西留下了豐富多彩的歷史文化遺產。壯麗山河，令山西縱橫着名山大川等自然景觀，使山西這塊沃土充滿了神奇的色彩和誘人的魅力。

山西，被外界稱為“中國古代文化藝術博物館”。精美絕倫的石雕、彩塑、壁畫、古建築等藝術珍品，令山西大地處處生輝，吸引着眾多的中外旅遊者來晉旅遊、貿易、觀光。燦爛的文化藝術遺產，為山西的旅遊事業創造了良好的環境與條件。勤勞、好客的山西人民，正用自己的雙手在這塊土地上耕耘，繪制着新的、美的畫卷。

尊貴的朋友們，山西人民歡迎您，歡迎您來山西作客、觀光旅遊，歡迎您來山西開拓、創造、發展。

山西省の概況

山西省は、黄土高原に位し、西には陝西省、東には河北省、南には河南省、そして北には内蒙古自治区とそれぞれ隣接しており、悠久な歴史と豊富な物産を有し、文化財の精粹が多く保存され、人材の輩出しているところである。

山西という名は、太行山の西にあることから由来しており、春秋時代には晋という国の領地であったが、やがて、戦国時代がはじまり、韓、趙、魏の三国の出現により晋が分割された。そのため、山西は別名「三晋」とも称される。

「三晋」の土地は、黄河の中流地域に位置し、中華民族の発祥の地の一つであり、中国古代文明、中国伝統文化の発祥の地でもある。

百万年も前から、中華民族の祖先たちは、すでにこの土地で生産、生活を営み、今日まで発展してきた。伝説によると、中華民族の始祖の一人である黄帝は、すでに、ここ山西へ勢力を伸ばしているという。また、中国史前史の上で有名な堯、舜、禹の三人は、みなこの山西南部に都を築き、堯は平陽(今の臨汾)、舜は蒲坂(今の永濟)、禹は安邑(今の夏県)にそれぞれ都がおかれたのである。さらに、北魏時代に、平城(今の大同)は北魏の都として栄え、隋の末期になると、李淵親子は太原で兵をあげ、その勢いで、長安を攻め落として、唐王朝を建て、後に、李世民は、「太原の貴公子」として、皇位を継承したのである。唐が中国を統一してから、太原是北京と名付けられ、陪都として重要な都市であった。元の末期から明のはじめにかけて、群雄が天下を争い、度重なる戦乱により、中国では、人口が激減され、平野地帯には、無人の町、無人の村さえ出現していた。当時、山西はよそより人口が多かったためか、洪洞の大槐樹の下に民衆を集め、平野地帯へ移民を送ったことがある。八回にわたる移民活動はみな山西から始まっており、当時の状況は「生まれ故郷はと聞けば、山

西洪洞の大槐樹」という言い伝えからも伺えよう。

山西省は総面積15.63万平方キロ、総人口2870万人あまりも有し、東に太行山、西に呂梁山、北に恒山、五台山、南に中条山、太岳山があり、境内には、高い山山が縦横に連なり、また、汾河という川が北から南まで流れている。山西省のほとんどの地域は、海拔1000から2000メートルという高さがあり、最も高いところは海拔3058メートルにも達している。それゆえ、山西省はまた「華北の屋根」とも、「囲まれた山河」とも呼ばれている。

山西省は行政区域として、118の県および県に相当する市、区があり、大きくわけて雁北、忻州、晋中、呂梁、臨汾、運城の六つの地区と太原、大同、陽泉、長治、晋城、朔州の六つの市があり、省都は太原である。

悠久な歴史は、山西に豊富、多彩な文化遺産をもたらし、壮大な山河は山西に名山大河を有する美しい景色を賜ってくれた。そのため、山西省は観光客にとって、神秘で魅力の溢れるところとなっている。

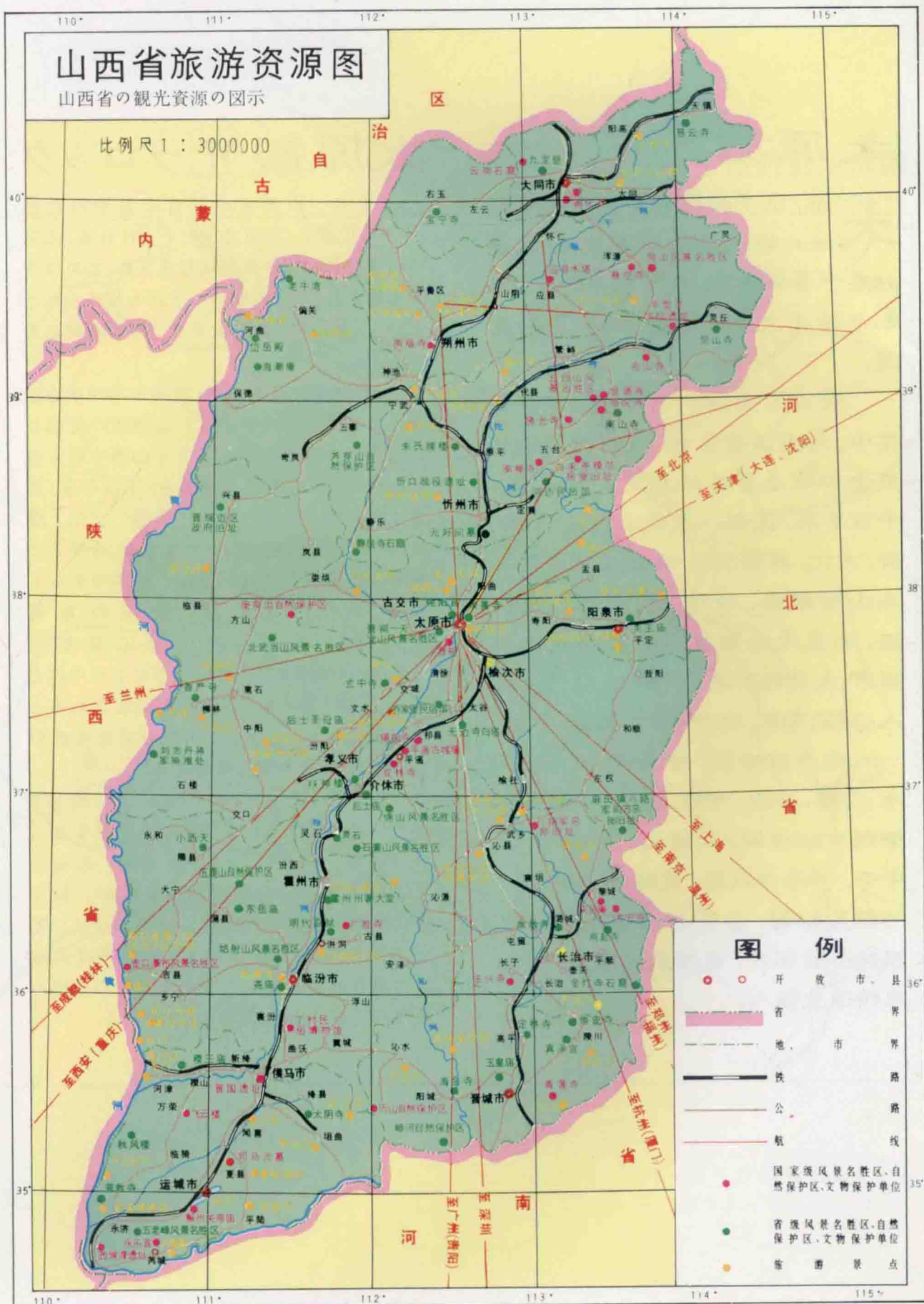
山西は、「中国古代芸術の博物館」と称されるだけあって、すばらしい石の彫刻、塑像、壁画および古代建築などの文化遺産がたくさん残されている。それゆえ、山西を訪れた国内外の観光客はだれ一人引き付けられない人はいないという。これらの文化、芸術のすぐれた遺産は、すばらしい観光資源であり、そして、客を大事にする山西人民はいまや自分たちの力で山西省の建設を推し進めており、より新しい、より美しい山西はそのうちきっとみんなの前に現れて来るであろう。

尊敬する友人の皆さん、山西人民はみなさんが観光客として観光旅行にまたは事業家としてビジネスを展開させるために、山西においでになることをこころから歓迎します。

山西省旅游资源图

山西省の観光資源の図示

比例尺 1 : 3000000



太原旅遊區

太原，位于山西省中部的晉中盆地北端，被稱為太原盆地。太原始建於春秋末期。最早稱晉陽，宋代初年改名太原。太原，大平原的意思。

太原市海拔八百米，汾河縱貫其中，是山西省省會，是山西歷史上至今都頗為著名的歷史文化名城。千百年來，這裡一直是山西政治、經濟、文化、商業貿易中心。如今，更成為山西鐵路、公路、航空的交通樞紐，而且是全國重要的能源重化工城市。太原轄五區、一市、三縣，市、郊人口共270萬，城市人口155萬。

太原旅遊區，由太原、交城、文水、汾陽、榆次、祁縣、太谷、平遙等八個縣市的晉祠、天龍山、雙塔寺、玄中寺、平遙古城牆、雙林寺、鎮國寺、祁縣民俗館、杏花村汾酒廠等著名旅遊景點組成，自然風光優美，民俗風情濃重誘人。

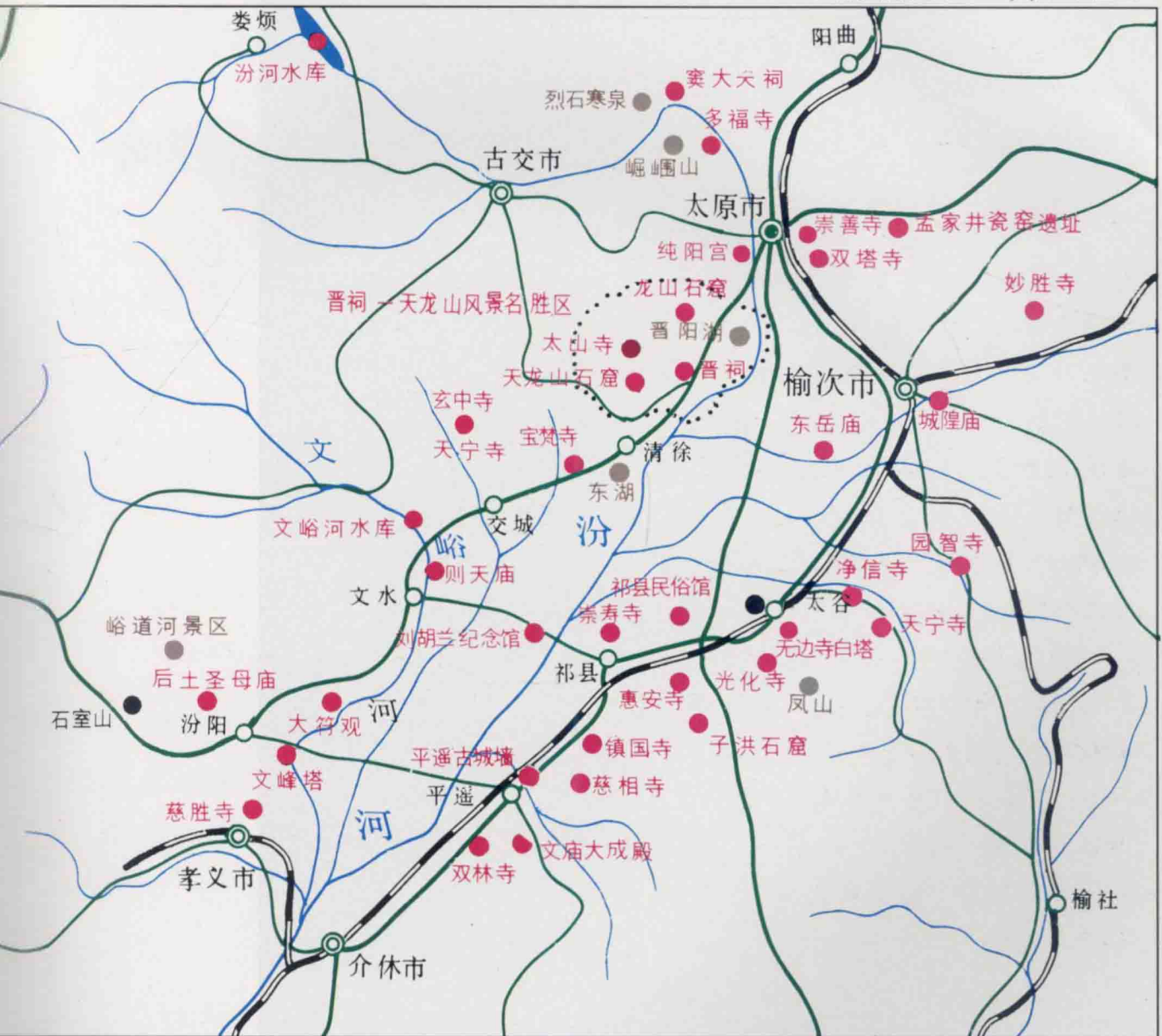
太原觀光ブロック

太原は一山西省中部晉中盆地の北部に位置し、太原盆地ともよばれる。太原の町は春秋時代の末期に形成され、始めは晋陽と称され、宋代の始めに太原と改められたという。太原すなわち大きな平原の意味である。

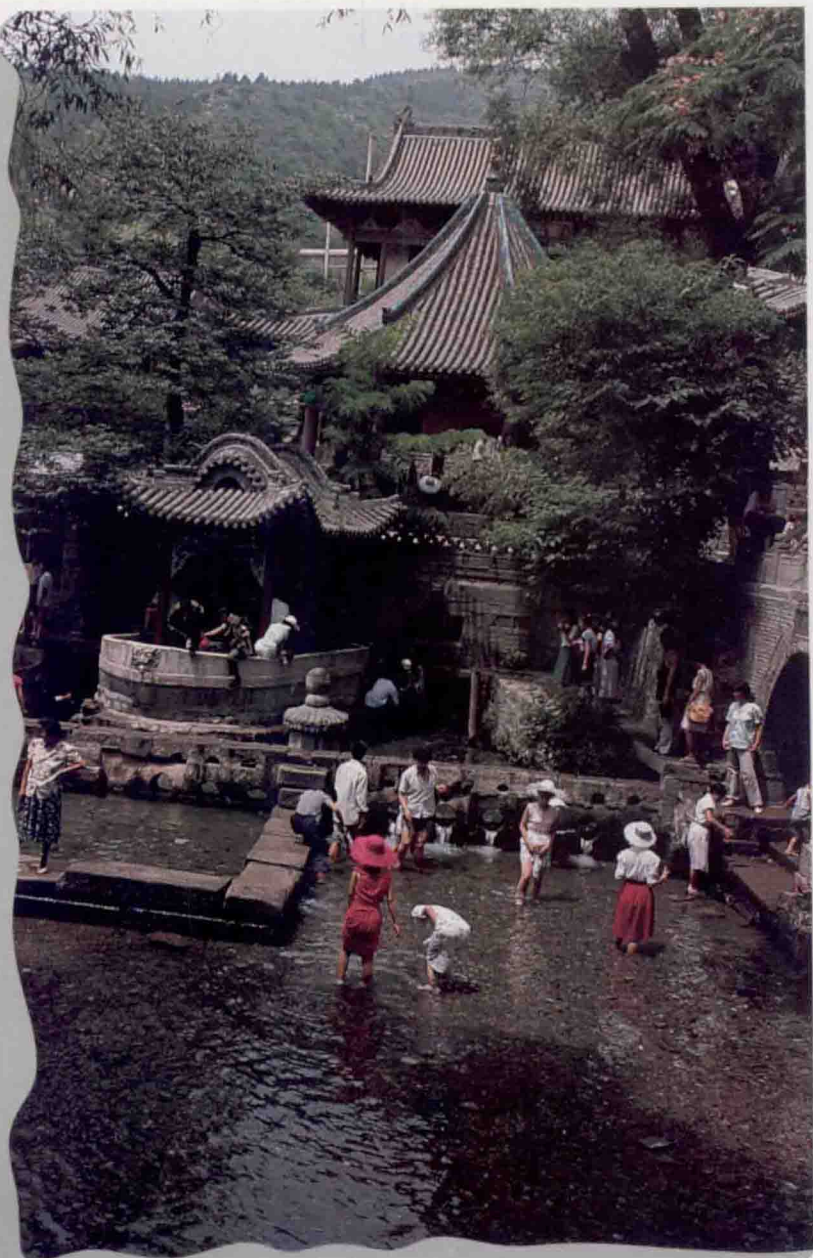
海拔800メートルで、汾河が市の中心を貫いているここ太原市は山西省の省都として昔から今日にいたるまで山西の最も有名な歴史文化の都市である。千百年来、太原はずっと山西省の政治 経済 文化 商業の中心地の役割を担ってきたが、今やここはさらに山西の鉄道 道路 航空のターミナルとなり、また 全国の重要なエネルギー、重化学工業都市となっている。太原市はその下に五つの区と一市三県が置かれ、郊外の人口を含めると総人口270万人であり、市内だけでも人口155万人を有する大都市である。

太原観光ブロックは太原 交城 文水 汾陽 榆次 祁県 太谷 平遥など八つの市県に点在している晋祠 天龍山 双塔寺 玄中寺 平遥城 双林寺 鎮国寺 祁県民俗館 杏花村汾酒工場などの名所旧跡からなっている。これらの観光地は風景が優美であり、その土地その土地の風俗習慣が色濃く反映されている。

太原旅游區示意图
太原観光ブロックの図示



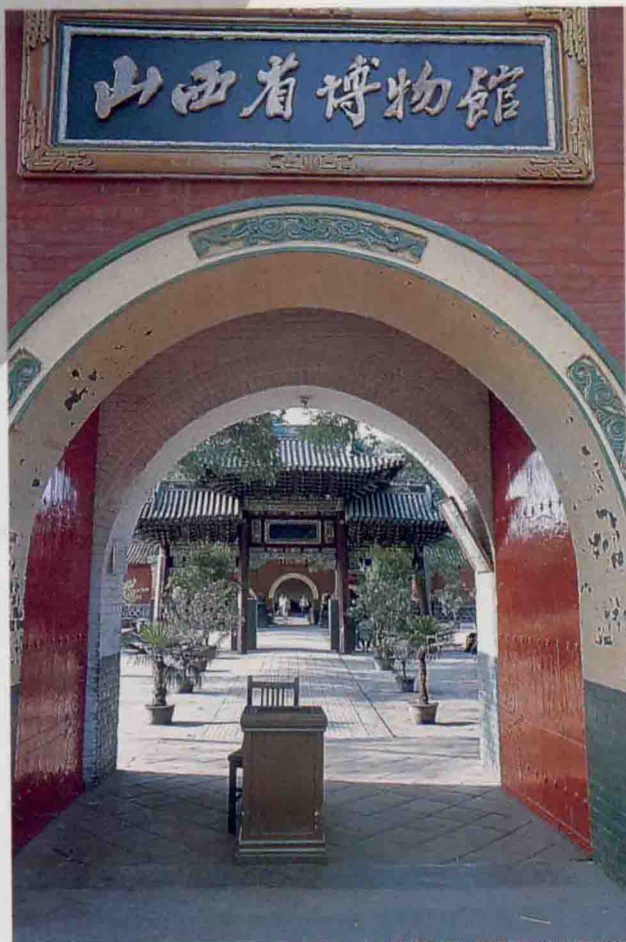




晉祠難老泉
晋祠の難老泉



晉祠
晋祠



山西省博物館專題陳列部
山西省博物館の専門陳列部



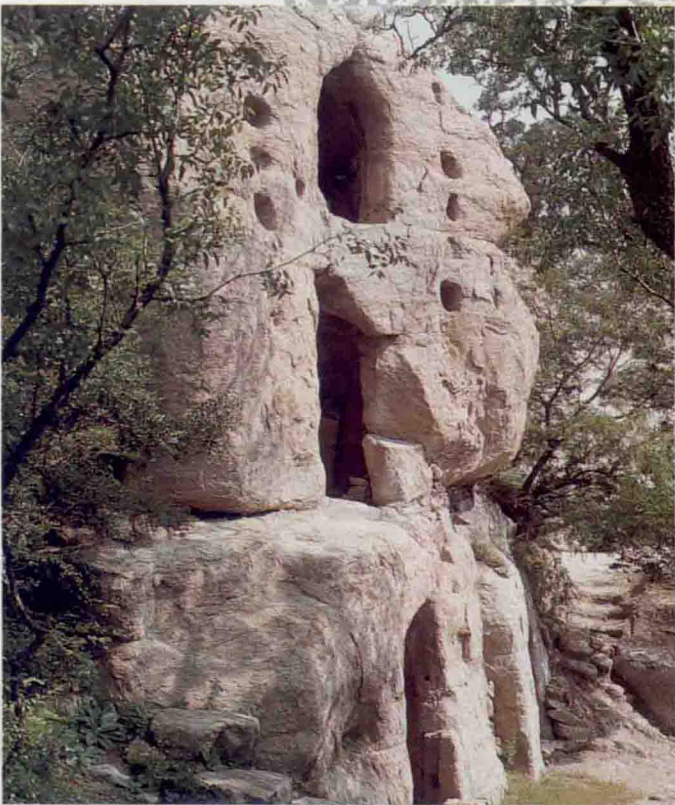
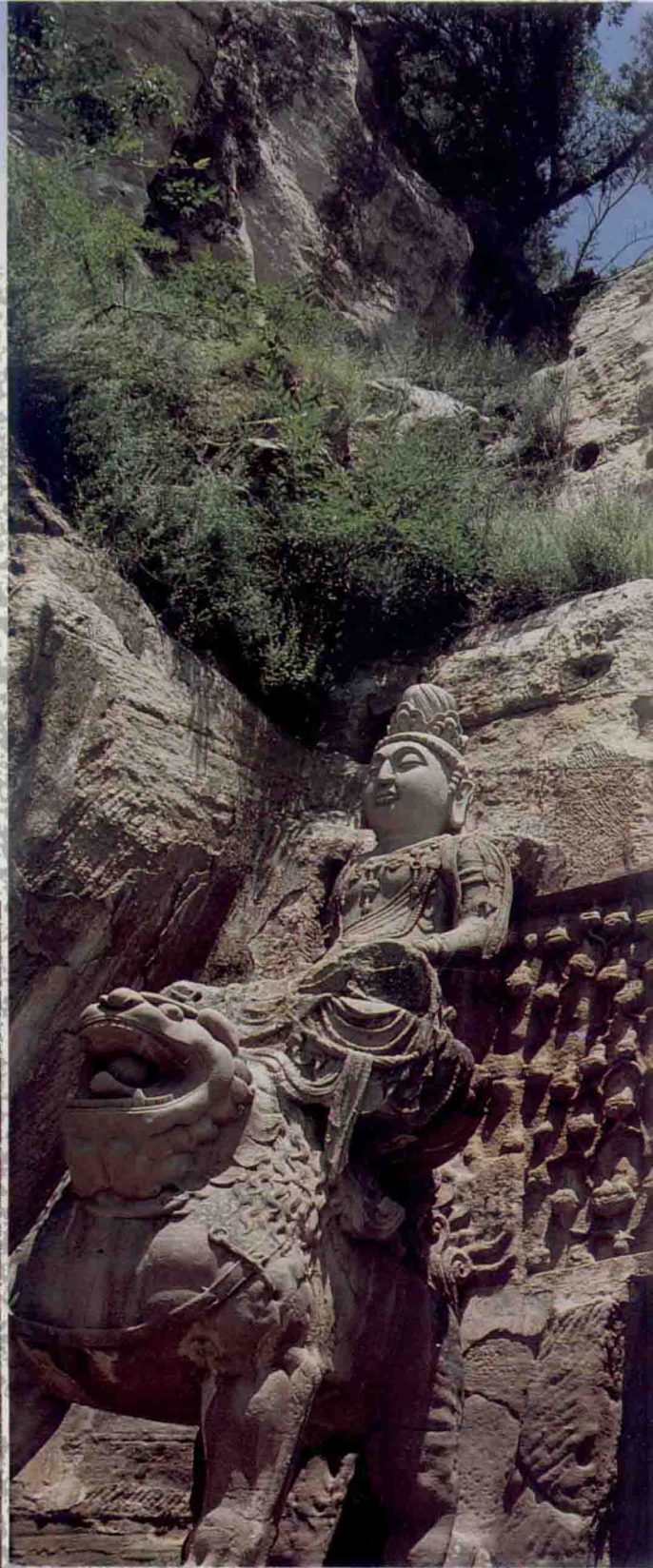
山西省博物館
山西省博物館

太原崇善寺千手観音
崇善寺の千手観音



崇善寺大悲殿
崇善寺の大悲殿

天龍山石窟
天竜山石窟



太原龍山道教石窟
竜山の道教石窟



玄中寺外景



玄中寺大雄寶殿
玄中寺



交城玄中寺佛事活動
玄中寺





交城卦山天寧寺
交城の掛山天寧寺



祁縣喬家大院民俗博物館
祁縣の喬家堡民俗博物館